

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	1サービス接遇検定3級公式テキスト 2サービス接遇検定3級実問題集 第58回～64回 3秘書検定3級パーフェクトマスター 4秘書検定3級実問題集 2026年度版 5医療秘書技能検定実問題集 3級1 2026		出版社	1～4早稲田教育出版 5つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	サービス接遇、秘書業務の学習を通じてビジネスマナー全般の知識を習得する。 医療事務員として働くにあたり必要となる接遇・マナーを身につける。				
到達目標	相手が感じが良いと思う言葉遣いや相手に満足と感じてもらえる行動ができる。 社会に出て働く人に求められる基本的な仕事の仕方・態度振る舞いができる。 愛想と愛嬌を理解し医療事務員として必要なマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。				
評価基準	期末テスト：40%、小テスト：30%、授業態度（提出物含む）：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接遇実務検定、秘書技能検定、ビジネス文書技能検定、医療秘書技能検定				
関連科目	ビジネスマナーⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮内 まゆみ 他1名	実務経験		○	
実務内容	そごう横浜店 人事部教育担当 7年 堀越医院（小児科、内科、皮膚科） 診療介助 4年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の流れ・到達目標について ビジネスマナーとは
2	サービススタッフの資質	サービススタッフの資質について サービスの意義について
3	専門知識・一般知識	専門知識 一般知識
4	対人技能1	人間関係・接遇知識・服装について
5	対人技能2	話し方について
6	実務技能1	問題処理・環境整備・金品管理について
7	実務技能2 検定対策1	社交業務について 検定に向けた対策1
8	検定対策2	検定に向けた対策2

9	マナー・接遇1	人間関係とマナー・話し方について 話し方と聞き方の応用 敬語と接遇用語
10	マナー・接遇2	電話応対について
11	マナー・接遇3	来客応対と取引先訪問について
12	マナー・接遇4	交際業務について
13	10月実習に向けて1	クレーム対応について
14	10月実習に向けて2	実習先への電話かけについて 指示の受け方・メモの書き方など
15	期末テスト 総まとめ	期末テストの実施 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	1サービス接遇検定3級公式テキスト 2サービス接遇検定3級実問題集 第58回～64回 3秘書検定3級パーフェクトマスター 4秘書検定3級実問題集 2026年度版 5医療秘書技能検定実問題集 3級1 2026		出版社	1～4早稲田教育出版 5つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	サービス接遇、秘書業務の学習を通じてビジネスマナー全般の知識を習得する。 医療事務員として働くにあたり必要となる接遇・マナーを身につける。				
到達目標	相手が感じやすいと思う言葉遣いや相手に満足と感じてもらえる行動ができる。 社会に出て働く人に求められる基本的な仕事の仕方・態度振る舞いができる。 愛想と愛嬌を理解し医療事務員として必要なマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。				
評価基準	期末テスト：40%、小テスト：30%、授業態度（提出物含む）：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接遇実務検定、秘書技能検定、ビジネス文書技能検定、医療秘書技能検定				
関連科目	ビジネスマナーⅠ、医事業務実践ベーシックA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮内 まゆみ 他1名	実務経験		○	
実務内容	そごう横浜店 人事部教育担当 7年 堀越医院（小児科、内科、皮膚科） 診療介助 4年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 必要とされる資質	前期の振り返りと授業の流れ・到達目標について 秘書の心構え 秘書に求められる能力と守秘義務
2	職務知識	秘書の機能と役割 秘書の職務
3	一般知識1	企業の基礎知識 企業組織の活動
4	一般知識2	社会常識
5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定に向けた対策1
6	技能1	会議についての秘書の役割
7	技能2	ビジネス文書の作成

8	技能3	電子メールの書き方 文書の取り扱い
9	技能4	文書・資料管理 環境整備
10	まとめ1	秘書技能検定の記述問題対策
11	まとめ2	理論・実技総まとめ
12	検定対策2	秘書技能検定に向けた対策1
13	検定対策3	秘書技能検定に向けた対策2
14	検定対策4 期末テスト	秘書技能検定に向けた対策3 期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ペン字Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	・あなたも書き文字美人に「きれいな文字の書き方」 ・しっかり身につく！硬質書写技能検定3級のドリル 書き込み式練習帳		出版社	・二玄社 ・(一財)日本書写技能検定協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人にふさわしいと文字の習得/情操の陶冶 学んだ知識と技術を実践で活かす力を育む				
到達目標	ビジネス文書等を受け手に配慮し、正しく書くことができる 検定を基準とした文字に関する「実技」「理論」の知識を学び活かすことができる				
評価基準	テスト(小テスト)50% ・提出物、課題等30% ・授業態度、積極性20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3級・準2級・2級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	萩原 純子	実務経験		○	
実務内容	財団法人日本書道教育学会/通信教育部/3年 読売カルチャーセンター/ペン習字指導/16年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ペン字の授業の意義/授業/評価方法/検定について
2	★第1問「速書き」☆ボールペン使用 ひらがな <pp.5-30>	★第1問「速書き」<ドリル pp.6-7> ひらがなの特徴/字源/自分の癖を確認しブラッシュアップする
3	カタカナ・数字・アルファベット <pp.32-33> ★第4問「横書き」	カタカナ・算用数字・アルファベットの特徴/読みやすく書く ★第4問「横書き」<ドリル pp.24-37>
4	筆 順<pp.40-45> ★第8問「筆順」	筆順の原則とその例/筆順と美しい文字の関係 ★第8問「筆順」<ドリル pp.24-27>
5	漢字の基本1 単体文字 <pp.46-47 50-61>	楷書 単体文字のポイント説明・練習
6	漢字の基本2 複合文字 <pp.62-67>	楷書 複合文字のポイント説明・練習
7	漢字の基本3 全体の整え方 <pp.68-71>	楷書 全体の整え方 ★第4問復習 横書き文章の書き方/文字の大きさ/中心の取り方
8	主な部首の名称<pp.72-73> ★第7問「部分の名称」	主な部首の名称の理解 ★第7問「部分の名称」<ドリル pp.40-43>

9	行 書 <pp.74-79> ★第2問「熟語（楷書・行書）」	行書の理解／楷書と行書の違い ★第2問「熟語」<ドリル pp.12-15>
10	漢字かな交じり文 ★第3問「縦書き文（行書）」	縦書き文（漢字と平仮名の調和） / 行書に調和するひらがな <P34-35> ★第3問「縦書き文（行書）」<ドリル pp.16-23>
11	正しい字体とは ★第9、10問「草書/字体の判断」	簡単な草書を読む★第9問「草書」<pp.ドリル 50-55> 漢字のまちがいを捜し★第10問「字体の判断」<ドリル pp.56-60>
12	大きいサイズの文字1 ★第6問「揭示文」下書き ☆マーカー、定規使用	揭示文解説／レイアウト(下書き) ★第6問「揭示文」<ドリル pp.36-38>
13	大きいサイズの文字2 ★第6問「揭示文」清書 ☆マーカー、定規使用	学びを活かし書く／正しい字形の確認（清書） ★<ドリル pp.36-38>
14	大きいサイズの文字3 ★第6問「揭示文」発展 ☆マーカー、定規使用	様々な揭示文や大きい封筒への記入 ★<ドリル pp.36-38>
15	まとめ	前期のふりかえり

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ペン字Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	・あなたも書き文字美人に「きれいな文字の書き方」 ・文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3級のドリル		出版社	・二玄社 ・(一財)日本書写技能検定協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人にふさわしいと文字の習得/情操の陶冶 学んだ知識と技術を実践で活かす力を育む				
到達目標	・ビジネス文書等を受け手に配慮し、正しく書くことができる ・検定を基準とした文字に関する「実技」「理論」の知識を学び活かすことができる				
評価基準	テスト(小テスト)50% ・提出物、課題等30% ・授業態度、積極性20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	・文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3級・準2級・2級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	萩原 純子	実務経験		○	
実務内容	財団法人日本書道教育学会/通信教育部/3年 読売カルチャーセンター/ペン習字指導/16年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	都道府県名・都市名 <pp.104-111>	都道府県名・都市名を練習と住所表記の注意点
2	氏名の書き方 <pp.112-115>	氏名の練習/旧字体、書写体について
3	葉書 [表書き] <pp.118-125> ★第5問「葉書」1	3級葉書(表書き)の書き方説明/レイアウトの確認・練習 ★第5問「葉書」<ドリル pp.28-35>
4	★第5問「葉書」2	3級の葉書(表書き)練習 ★第5問「葉書」<ドリル pp.28-35>

5	葉書 [裏書き] <pp.118-125>	2級、準2級葉書（裏書き）について ※季節や旅の挨拶状<pp.122-123>
6	俳句・四字熟語・連綿 <pp.82-113・116-117>	俳句、四字熟語、連綿等
7	【実用書】 履歴書1 <pp.134-137>	[実習、就職に関わる書類] 1履歴書に必要な記入項目とバランスを学ぶ
8	【実用書】 履歴書2	[実習、就職に関わる書類] 2見ていただく書類として適切か/受け手に与える影響を考える
9	【実用書】 履歴書3	[実習、就職に関わる書類] 3清書のコツ（ペン書き）
10	【実用書】 手紙文/御礼状 <pp.126-133>	[実習、就職に関わる書類] 4お礼状のマナー
11	【実用書】 手紙文/御礼状/便箋	[実習や就職にかかわる書類] 5手紙文の理解/お礼状/便箋
12	【実用書】 手紙文/御礼状/封筒	[実習や就職に関わる書類] 6手紙文の理解/お礼状/縦長封筒 (※『医療業界』御机下・御侍史について)
13	書き初め	「今年の一文字」(決意)
14	慶弔用語 <pp.138-141>	のし袋/芳名帳
15	ふりかえり	全体のふりかえり

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	30時間でマスター Office パソコン技能検定 対策問題集 3級 パソコン技能検定 模擬問題集 3級 パソコン技能検定 対策問題集 2級			出版社	実教出版 学校法人三幸学園 学校法人三幸学園 学校法人三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。 また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定3級で求められる文字数（350字/10分）を入力できる。 ビジネス文書の入力がスムーズにできる。				
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	江藤 菜月 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明・検定について・タッチタイピングの方法と必要性について Windowsの基本操作・タッチタイピング（ホームポジション）の練習
2	タッチタイピング Wordの基礎・基本入力	タッチタイピング（上段/下段）の練習・入力問題実施 変換、文節区切りの変更、再変換、ファンクションキー、記号と特殊文字、手書き入力（IMEパッド）について
3	入力練習 ビジネス文書の基本	入力スピード練習（10分）、フォント、フォントサイズ、文字修飾、コピー、貼り付け、切り取りについて ビジネス文書の基本型と入力の仕方を学ぶ
4	表作成	入力スピード練習（10分） 表作成の説明について
5	文書作成1	入力スピード練習（10分） 文書作成問題練習
6	文書作成2	入力スピード練習（10分） 文書作成問題練習
7	文書作成3	入力スピード練習（10分） 文書作成問題練習
8	パソコンの知識1	入力スピード練習（10分） 学科問題に必要なパソコン知識の説明

9	パソコンの知識2	入カスピード練習 (10分) コンピュータ関連知識の説明
10	テスト (Word)	入力問題・文書作成問題の実施
11	Excelの概要・データ入力	入カスピード練習 (10分) Excelの初期画面、基本データ入力、オートフィル機能、罫線、四則計算について
12	Excel基本復習、基本的な関数	入カスピード練習 (10分) Excel基本復習・SUM、AVERAGE、MAX、MIN、絶対参照について
13	グラフ	入カスピード練習 (10分) グラフの作成・グラフ要素について
14	表計算練習1	入カスピード練習 (10分) 表作成問題練習
15	表計算練習2	入カスピード練習 (10分) 表作成問題練習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		30
使用教材	30時間でマスター Office パソコン技能検定 対策問題集 3級 パソコン技能検定 模擬問題集 3級 パソコン技能検定 対策問題集 2級			出版社	実教出版 学校法人三幸学園 学校法人三幸学園 学校法人三幸学園

科目の基礎情報2

授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。 また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定3級レベルのWord、Excel操作ができる。 パソコン技能検定2級レベルの操作を行うことができる。 PowerPointの基本的な操作ができる。				
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	江藤 菜月 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定に向けて・前期復習	検定試験の実施手順・数式印刷の説明 入力問題、文書作成問題、表計算問題
2	パソコン検定3級対策1	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
3	パソコン検定3級対策2	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
4	パソコン検定3級対策3	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
5	パソコン検定3級対策4	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
6	パソコン検定3級対策5	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
7	パソコン検定3級対策6	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
8	Wordのいろいろな機能1	入力スピード練習 (10分) 図形・ワードアート・画像について

9	Wordのいろいろな機能2	入カスピード練習 (10分) 段組み、ドロップキャップ、割注について
10	Excelのいろいろな関数1	入カスピード練習 (10分) COUNT、RANK.EQ、ROUND、IFについて
11	Excelのいろいろな機能2	入カスピード練習 (10分) 条件付き書式、複合グラフについて
12	テスト (Excel)	入カスピード練習 (10分) Excelの確認テスト・表計算問題練習
13	PowerPointの操作1	PowerPointについての基本操作について
14	PowerPointの操作2	画面切り替え、アニメーション、ハイパーリンクについて
15	PowerPoint作成	PowerPoint作成練習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する。 傾聴力・思考力・表現力を身につける。				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる。 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる。				
評価基準	発表：60% 小テスト: 20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アビリティUPⅠ・アビリティUPⅡ・ビジネスマナーⅠ・ビジネスマナーⅡ・就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木公美子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プレゼンテーションとは+B23:H37	授業の概要について 傾聴（アクティブリスニング）について
2	話す時の心構えと基本	思考力と表現力について
3	表情（表現力）	第一印象(メラビアンの法則)と表情について 即題スピーチについて
4	思考力1	思考力について ストーリー構成の型について
5	思考力2、表現力	PREP法について show&tellについて
6	自己分析	自己分析について
7	ディスカッション	グループディスカッションについて
8	業界・職種・仕事内容 研究1	業界・職種・仕事内容の研究について1
9	業界・職種・仕事内容 研究2	業界・職種・仕事内容の研究について2

10	業界・職種・仕事内容 研究3	業界・職種・仕事内容の研究について3
11	業界・職種・仕事内容 研究4	業界・職種・仕事内容の研究について4
12	業界・職種・仕事内容 研究5	業界・職種・仕事内容の研究について5
13	まとめ	思考力・表現力評価 他者評価について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション実践Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	プリント		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する。 傾聴力・思考力・表現力を身につける。				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる。 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる。				
評価基準	発表：60% 小テスト：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アビリティUPⅠ・アビリティUpⅡ・ビジネスマナーⅠ・ビジネスマナーⅡ・就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木公美子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 実習・就職指導1	授業の概要について 業界研究、グループディスカッションについて実践1
2	実習・就職指導2	業界研究、グループディスカッションについて実践2
3	実習・就職指導3	業界研究、グループディスカッションについて実践3
4	実習・就職指導4	業界研究、グループディスカッションについて実践4
5	実習・就職指導5	業界研究、グループディスカッションについて実践5
6	自分自身を知る1	ジョハリの窓について 自己PR文作成について
7	自分自身を知る2	自己PR発表
8	自己分析1	自己分析の理解
9	自己分析2	自己分析づくり

10	模擬面接	模擬面接
11	実習・就職指導6	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践1
12	実習・就職指導7	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践2
13	実習・就職指導8	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践3
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	7つの習慣Ⅰテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 里美 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKOワークコンピテンス	SANKOワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ

10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なことは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鈴木 里美 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る
6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する

10	未来マップを作ろう1	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう2	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	TAKEOFF/ジョブカード		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職活動の準備や働くことに対する意識を醸成する 現場をイメージできる実習への準備をする				
到達目標	実習をやり多いものにするための準備ができる 実習後の課題を発見し、今後の課題や授業への取り組み方を深めていく すぐに就職活動が出来る状態(身だしなみ・履歴書・面接・意欲等)になっている				
評価基準	テスト70% 小テスト・提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医事業務実践ベーシックAⅡ・医事業務実践ベーシックBⅡ・医事業務実践ベーシックC・プレゼンテーション実践Ⅱ・医療機関実習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	相澤 祐平 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	就職対策の授業の位置付け説明
2	医療機関実習Ⅰにむけて	実習への心構えと準備 基礎的知識の確認
3	実習振り返り 1	実習で学んだこと、今後の就職活動で必要なこと、自身に足りないことの確認
4	実習振り返り 2	実習の振り返り 次年度の実習先・就職希望先の検討
5	医療機関実習Ⅱにむけて 1	医療機関実習Ⅱの目的理解
6	医療機関実習Ⅱにむけて 2	実習先選定の共有・実習先希望調査についての準備
7	就職活動の流れ 1	就職活動の基本的な流れを理解する
8	就職活動の流れ 2	就職活動のルール(学校求人・個人活動・併願受験等)を理解する
9	自己分析	自分史を作成する

10	履歴書・ジョブカード作成 1	履歴書・ジョブカードの作成について
11	履歴書・ジョブカード作成 2	履歴書・ジョブカードの添削・再作成について
12	身だしなみについて	実習・就職における身だしなみの確認
13	面接練習 1	面接試験に向けての対策 面接の仕方・準備の理解
14	面接練習 2	面接試験に向けての対策 面接の仕方の実践
15	まとめ	振り返り・進級後の目標設定

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎看護学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	3	45
使用教材	1看護学入門1 人体のしくみと働き 2新医療秘書医学シリーズ7 医療用語 3パッとひける医学略語・看護略語 4医療秘書技能検定実問題集 3級1		出版社	1メヂカルフレンド社 2建帛社 3照林社 45つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。				
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ・解剖生理学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石井 啓美	実務経験		○	
実務内容	国立相模原病院/看護師/消化器内科病棟 手術室/6年 相模原協同病院/看護師 手術室 ICU/1年8ヶ月				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 総論	学習のねらい、到達目標、評価基準、医療秘書技能検定などの説明 解剖学・生理学概要、人体各部の名称、位置や方向を示す用語について
2	第2章 人体の構成 第3章 人体の器官系	人体を構成する細胞・組織・器官・器官系について
3	第4章 運動器系1	骨の形状や構造について
4	第4章 運動器系2	筋肉の解剖と生理について
5	第5章 体液	血液成分、性状、血液凝固、血液型、組織液、リンパについて

6	第6章 循環器系1	心臓の構造、機能について
7	第6章 循環器系2	血管、リンパ管およびリンパ節の構造について
8	第6章 循環器系3	血液循環について
9	第7章 呼吸器系	呼吸器系の構造、機能について
10	第8章 消化器系1	各消化器官の位置や構造、機能について1
11	第8章 消化器系2	各消化器官の位置や構造、機能について2
12	第8章 消化器系3	消化・吸収のメカニズム、エネルギー代謝について
13	第10章 泌尿器系	腎臓、尿路の構造と機能、尿生成と排尿のメカニズムについて
14	第12章 内分泌系	内分泌腺の構造と機能、ホルモン作用について
15	総まとめ、テスト	テスト実施と総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎看護学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	1看護学入門1 人体のしくみと働き 2新医療秘書医学シリーズ7 医療用語 3パッとひける医学略語・看護略語 4医療秘書技能検定実問題集 3級1 5医療秘書技能検定実問題集 3級2			出版社	1メヂカルフレンド社 2建帛社 3照林社 45つちや書店

科目の基礎情報2

授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。				
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅰ・疾患学Ⅰ・解剖生理学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石井 啓美	実務経験		○	
実務内容	国立相模原病院/看護師/消化器内科病棟 手術室/6年 相模原協同病院/看護師 手術室 ICU/1年8ヶ月				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第13章 神経系1	医療秘書技能検定概要、学習評価基準などの説明 神経系の構造と機能について
2	第14章 感覚器系1	感覚器の構造、機能について
3	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
4	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
5	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
6	検定振り返り	実施された検定の振り返り、今後の授業展開を説明
7	第9章 体温	体温の定義、体温調節のメカニズムについて
8	第11章 生殖系	男性・女性生殖系の構造、生殖の生理について

9	第7章 呼吸器系	呼吸器系の構造と機能の復習
10	第6章 循環器系	循環器系の構造と機能の復習
11	第8章 消化器系	消化器系の構造と機能の復習
12	第5章 体液	血液成分、血液凝固の復習
13	まとめ	これまでの復習
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	疾患学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	疾患学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	1新医療秘書医学シリーズ3 臨床医学Ⅰ内科 2新医療秘書医学シリーズ4 臨床医学Ⅱ外科 3新医療秘書医学シリーズ5 検査・薬理学		出版社	建帛社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	学んだ人体のしくみを基礎に、疾病の成り立ちや診断（検査）、治療法を内科・外科の両面より習得する。				
到達目標	現場でよく使われている医療用語を説明することが出来る。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	解剖生理学・基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・医事業務実践ベーシックB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石井 啓美	実務経験		○	
実務内容	国立相模原病院/看護師/消化器内科病棟 手術室/6年 相模原協同病院/看護師 手術室 ICU/1年8ヶ月				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに 1. 内科・外科とは	学習の目的・目標・進め方の説明 内科的治療（p1）と外科で扱う疾病（p2）の特徴について
2	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
3		
4		
5		
6	2. 呼吸器疾患	主な疾患：呼吸器感染症、インフルエンザ、肺炎、結核など
7		
8	3. 循環器疾患	主な疾患：高血圧症、虚血性心疾患・狭心症、心筋梗塞
9		

10		
11	4. 消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
12		
13		
14	テスト	まとめテスト
15	まとめ 5. 血液疾患	テスト返却と振り返り 主な疾患：貧血、白血病、血液凝固異常

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	社会保険概論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	社会保険概論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		30
使用教材	1医療事務テキストⅡ2診療点数早見表 3医療概論4医療秘書検定問題集3級12 5検定過去問題集6窓口事務必携ハンドブック		出版社	15ユアサポート26医学通信社 3建帛社4つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	病院実習に役立ち、就職後には即戦力となる医療事務の知識の習得をする				
到達目標	医療事務員として必要な法律や公費の知識を説明することができる 医療事務検定1級、医療秘書検定3級（以下MS検定と表記する）に合格することができる				
評価基準	評価テスト50% 授業態度30% 小テスト20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定1級・医療秘書検定3級				
関連科目	医科医療事務AⅠ、医科医療事務AⅡ・医科医療事務BⅠ、医科医療事務BⅡ 医事業務実践ベーシックAⅠ、医事業務実践ベーシックAⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	柴田 住予 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医療秘書概論とは	MS検定に向けて 医療保険の概要
2	健康保険法	医療保険の概要 医療の仕組み、医療保険の種類、給付割合と患者負担割合
3	健康保険法	医療保険の給付 健康保険法の目的、医保の給付、保険診療の範囲、保険外併用療養費
4	健康保険法	医療保険の給付 高額療養費、その他の現金給付
5	医学と医療	医学と医療の歴史の違い、医療秘書が把握すべきもの
6	医療の実際	病気の定義と分類・病気の原因・診断・治療、プライマリケア・DPCによる疾病分類法
7	医療法・医師法	医療法と医療提供施設、医療提供施設の適宜と分類
8	病院管理	医療情報の提供
9	病院管理	病院・診療所の開設、管理等

10	医療関係者と法律	医師・歯科医師
11	医療関係者と法律	その他の医療関係者
12	労災・自賠	制度の目的・しくみ給付内容等
13	関連法規	療養担当規則
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	これまでのまとめ

科目の基礎情報1				
授業形態	講義	科目名	社会保険概論Ⅱ	
必修選択	選択	(学則表記)	社会保険概論Ⅱ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	2 30
使用教材	1医療事務テキストⅠ2診療点数早見表 3医療概論4医療秘書検定問題集3級12 5検定過去問題集6窓口事務必携ハンドブック		出版社	15ユアサポート26医学通信社 3建帛社4つちや書店
科目の基礎情報2				
授業のねらい	病院実習に役立ち、就職後には即戦力となる医療事務の知識の習得をする			
到達目標	医療事務員として必要な法律や公費の知識を説明することができる 医療事務検定1級、医療秘書検定3級（以下MS検定と表記する）に合格することができる			
評価基準	評価テスト50% 授業態度30% 小テスト20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	医療事務検定1級・医療秘書検定3級			
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務AⅡ、医科医療事務BⅠ・医科医療事務BⅡ、 医事業務実践ベーシックAⅠ・医事業務実践ベーシックAⅡ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	柴田 住予 他2名	実務経験		
実務内容				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	医療秘書の現状・役割	前期復習 医療秘書の現状と将来・役割と業務		
2	医療秘書の実務	医療機関が求める人材、守秘義務、人間関係とコミュニケーション、各部門業務		
3	実習前対策	医療秘書実務・医療とICT		
4	MS検定3級対策	MS検定問題集1、2		
5	MS検定3級対策			
6	MS検定3級対策			
7	公費負担医療	公費負担医療の概要 生保・原爆・感染症（結核）・児童福祉・難病・精神・各自治体の公費		
8	公費負担医療			
9	公費負担医療			

10	医事検1級対策	
11	医事検1級対策	医療事務検定過去問題集
12	死と医療	医療関連法規をめぐる諸課題
13	現代医療の課題	ターミナルケア、末期患者の問題とニーズ、緩和ケアと尊厳死
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	これまでのまとめ

科目の基礎情報1					
授業形態	講義	科目名	解剖生理学		
必修選択	選択	(学則表記)	解剖生理学		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	1看護学入門1 人体のしくみと働き 2新医療秘書医学シリーズ7 医療用語 3パットとひける医学略語・看護略語 4医療秘書技能検定実問題集 3級1 5医療秘書技能検定実問題集 3級2		出版社	1メヂカルフレンド社 2建帛社 3照林社 45つちや書店	
科目の基礎情報2					
授業のねらい	人体の構造や機能に関して、医学知識を習得する				
到達目標	基礎医学を理解し、必要に応じ説明することができる				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石井 啓美	実務経験		○	
実務内容	国立相模原病院/看護師/消化器内科病棟 手術室/6年 相模原協同病院/看護師 手術室 ICU/1年8ヶ月				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション・総論	学習のねらい、評価基準、授業の進め方を説明する。 身体の方角・面・区分の表現、人体の構成要素について			
2	神経系・感覚器	神経系・感覚器について			
3	循環器系	心臓について			
4	循環器系	心臓について			
5	血液	血液について			
6	テスト	テストの実施			
7	運動器系	骨格系・運動を行う筋系について			
8	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系について			

9	内分泌系	内分泌系について
10	呼吸器系	呼吸器系について
11	消化器系	消化器系について
12	消化器系	消化器系について
13	生殖器系	生殖器系について
14	テスト	テストの実施
15	まとめ	総まとめと復習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医事CP・電子カルテ基礎		
必修選択	選択	(学則表記)	医事CP・電子カルテ基礎		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」 診療点数早見表、早見表、医療事務テキストII		出版社	ケアアンドコミュニケーション	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医療事務コンピュータの役割と活用性を理解し、医療事務で学んだ診療報酬算定の知識を基に医事コンピュータを用いて正確な算定を行う。 電子カルテの入力基礎を習得する。				
到達目標	医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できるようになる。 コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。 電子カルテの基礎的な入力ができるようになる。				
評価基準	テスト：70% 小テスト・提出物：20% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験 3級、医事コンピュータ技能検定試験 2級、電子カルテ検定				
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務AⅡ・医科医療事務BⅠ・医科医療事務BⅡ・ 医事CP・電子カルテ応用Ⅰ・医事CP・電子カルテ応用Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大城 理香 他2名	実務経験		○	
実務内容	日本医科大学病院/医事課/5年 CPC大腸・胃内視鏡クリニック/医療事務/6年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・医事CPの授業目的・概要説明 ・CP基本操作（患者登録まで）	・医療機関における医事CPの役割と活用性 ・システムの起動・終了操作、USBの取り扱い
2	外来患者入力1	病名・診察料・医学管理・投薬・doの入力
3	外来患者入力2	注射・処置・麻酔・手術の入力
4	外来患者入力3	検査・病理・画像診断の入力
5	外来患者入力4	複初・複再、処方箋、画像連続・特殊撮影の入力
6	外来患者入力5	伝票形式の入力演習1（検定対策）
7	外来患者入力6	外来患者入力のまとめ
8	外来患者入力7/テスト	外来患者入力のまとめ/テスト
9	入院患者入力1	・外来と入院の相違 ・食事・入院料の入力

10	入院患者入力2	入院患者入力演習1
11	入院患者入力3	入院患者入力演習2
12	CP 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ CP 内の内部処理 ・ CP の五大装置と機能 ・ 周辺装置の種類と特徴 ・ インターフェースの種類と特徴 ・ ソフトウェアの種類と特徴 ・ オペレーティングシステムの種類と特徴 ・ アプリケーションソフトの基本操作
13	小テスト・まとめ	CP 関連小テスト・入院小テスト・総まとめ
14	電子カルテ1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテの基本操作 ・ オーダリングシステムの役割 ・ SOAP の意味 ・ 問診表の入力
15	電子カルテ2	<ul style="list-style-type: none"> ・ カルテ入力（症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等）

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシックAⅠ（受付・会計・請求・医療コンシェルジュ）		
必修選択	選択	（学則表記）	医事業務実践ベーシックAⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	1新版 医療の接遇 2窓口事務必携ハンドブック 3医療事務テキストⅠ		出版社	1医療タイムズ社 2医学通信社 3ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける				
到達目標	診療所、病院での受付のポイントを述べることができる ケースワークや様々なシミュレーションを通じて、自分なりに表現することができる				
評価基準	発表・実践：40%、期末テスト：30%、授業態度：20%、小テスト：10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務AⅠ 医科医療事務AⅡ 医科医療事務BⅠ 医科医療事務BⅡ 社会保険概論Ⅰ 社会保険概論Ⅱ ビジネスマナーⅠビジネスマナーⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡邊 真由美	実務経験	○		
実務内容	東京女子医科大学第二病院/医療事務/1年6カ月 しながわこどもクリニック/受付・会計/8年 げんき鍼灸接骨院/受付・会計/7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・ベーシックAⅠについて
2	医療機関ってどんなところ？ 各種医療保険について	・医療機関について ・各種医療保険について
3	受付対応1 【基本】	・病院・診療所での受付の違い ・各種医療保険について
4	受付対応2 【基本】	・初診受付について マイナ保険証の取り扱い・資格確認書のお預かり 問診票の記入 診察券の発行
5	受付対応3 【基本】	・再診受付について マイナ保険証の取り扱い・資格確認書・診察券のお預かり・お返しまで
6	受付対応 実践練習	・初診・再診の受付シミュレーション マイナ保険証の取り扱い、問診票の記入依頼まで
7	受付シミュレーション	・受付シミュレーション実践 テスト
8	受付対応1 【応用】	・初診時におこりやすいトラブルについて
9	受付対応2 【応用】	・再診時におこりやすいトラブルについて

10	受付対応3 【応用】	・クレーム対応について 待ち時間など
11	受付対応 【接遇マナー】	・医療人としての接遇
12	受付シミュレーション	・シミュレーション実践 テスト
13	受付シミュレーション	・シミュレーション実践 テスト
14	期末まとめ	・前期評価ペーパーテスト
15	前期振り返りと総まとめ	・シミュレーション実践の振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシックA II (受付・会計・請求・医療コンサルジュ)		
必修選択	選択	(学則表記)	医事業務実践ベーシックA II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	1新版 医療の接遇 2窓口事務必携ハンドブック 3医療事務テキストI		出版社	1医療タイムズ社 2医学通信社 3ユアサポート	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける				
到達目標	診療所、病院での受付のポイントを述べることができる ケースワークや様々なシミュレーションを通じて、自分なりに表現することができる 社会人としての基本マナーを身につける				
評価基準	発表・実践：40%、期末テスト：30%、授業態度：20%、小テスト：10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務A I 医科医療事務A II 医科医療事務B I 医科医療事務B II 社会保険概論 I 社会保険概論 II ビジネスマナー I ビジネスマナー II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡邊 真由美	実務経験	○		
実務内容	東京女子医科大学第二病院/医療事務/1年6カ月 しながわこどもクリニック/受付・会計/8年 げんき鍼灸接骨院/受付・会計/7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期の目標 受付対応1 【医療費助成制度】	・前期復習 ・「乳児医療証」「子ども医療証」「ひとり親医療証」について
2	会計対応1 【金銭授受】	・金銭授受について ・患者様の呼び出し
3	実習に向けて	・病院実習に向けて ・社会人としてのマナー
4	実習の振り返り	・実習での振り返りワーク
5	受付対応2 【労災・自賠責】	・労働者災害補償制度 ・自賠責保険制度
6	受付対応シミュレーション	・高齢者・労災・自賠責 シミュレーション実践
7	会計対応2 【各種書類】	・診断書・証明証・紹介状の会計について
8	会計対応3 【領収書・明細書】	・時間外診療 ・電話再診について
9	会計対応シミュレーション練習	・会計シミュレーション実践準備

10	会計シミュレーションまとめ	・会計シミュレーション実践
11	期末まとめ	・後期評価ペーパーテスト
12	シミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシミュレーション実践
13	シミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシミュレーション実践
14	シミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシミュレーション実践
15	後期の振り返りと総まとめ	後期のまとめと1年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシックB (医学的内容)		
必修選択	選択	(学則表記)	医事業務実践ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		15
使用教材	1新医療秘書医学シリーズ3 臨床医学Ⅰ内科 2新医療秘書医学シリーズ4 臨床医学Ⅱ外科 3新医療秘書医学シリーズ5 検査・薬理学		出版社	建帛社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践するための医学的知識とスキルを身につける				
到達目標	医療現場での対応例を習得し、疾患学と診療報酬を結びつけて説明する事が出来る				
評価基準	実践：40% 期末テスト：30% 授業態度：20% 小テスト：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	解剖生理学・基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石井 聡子	実務経験		○	
実務内容	医療法人明徳会 総合新川橋病院／臨床検査技師／15年 公益財団法人 神奈川県予防医学協会／臨床検査技師／8年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに 感染症の理解	授業の目的・目標・進め方の説明 各種ウイルスの感染経路、スタンダードプリコーションについて
2	感染症対策1 (空気、飛沫感染)	手指消毒、マスクの正しいつけ方について
3	感染症対策2 (飛沫、接触、血液媒介感染)	感染経路別予防策について 手袋、防護具の装着法、リネンの取り扱いについて
4	感染症対策3	医療器具の洗浄、滅菌について
5	感染症に対する対応実践	感染疑いのある患者来院時の対応実践を行う 感染疑いのある患者来院時の事前準備、到着後対応について
6	小テスト (感染症対策)	感染対策が円滑にできるか確認テストを行う
7	車いす、つえ使用実践	車いすの出し方、移動方法、たたみ方について
8		車いすの出し方、移動、たたみ方の実践を行う

9	疾患別対応1 (高血圧、糖尿病、心疾患)	高血圧、糖尿病患者の症状、対応策について
10		心疾患患者の症状、対応策について 胸痛の種類について
11	疾患別対応2 (消化器疾患) シミュレーション実践準備	消化器疾患の受診に適した診療科案内について 指定難病 (潰瘍性大腸炎、クローン病) の症状、対応策 (検査、投薬、食事) 症状悪化時の対応、 内視鏡検査の注意点、人工肛門の説明、来院時に必要なものについて
12		
13		胃、十二指腸疾患患者の症状 (検査、投薬、食事) について ヘリコバクターピロリ検査について
14	期末テスト	疾患毎の対応策が理解できているかテストを行う
15	総復習	これまでの内容を復習する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	対人関係論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	対人関係論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	史上最強よくわかる社会心理学		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	"人間"という動物の社会性について理解を深め、より良い対人関係を作るための基礎知識を身につける ・三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」の"心"の部分の理解を深め、人との関わりの中で心がどのような状態であると良いかを理解する				
到達目標	医療従事者として社会・集団に適應する基礎力を備える 集団適應しやすい「自分の在り方」を理解する				
評価基準	小テスト：30% テスト：40% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原 彩	実務経験		○	
実務内容	心療内科精神科クリニック/心理職/5年 スクールカウンセラー/心理職/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	自己(自己概念)について	自己概念 様々な"自己"について理解を深め、理想自己についてまなぶ (自己評価・自己呈示について)
3	他者について	"対人認知"について学ぶ 対人関係上生じる力動を知りつつ、他者が自分をどう見ているかを理解する
4	自己評価について理解を深める	下方比較・上方比較・自己呈示の内化、自己防衛動機や自己高揚動機など、自己評価に影響を与える心理的な働きを客観的に理解する
5	対人関係の成立について	"好意"について学ぶ(恋愛にも触れる) 好意という心理現象がどうい刺激から生まれているのかを理解する
6	対人関係の崩壊について学ぶ	社会的交換 人間関係に内在する"暗黙のルール"を理解する
7	自己呈示について学ぶ	自分に良い形に印象を操作するため必要な知識を身につける
8	学びの振り返り	自分のことを理解して、自分を振り返り、気づいたこととどうありたいか?をまとめる
9	集団心理について	敵対意識や帰属意識を理論的に理解する

10	集団の心理機能について理解する1	集団の斉一性や、同調行動、権威者の圧力など、集団に属したときに人に働く心理機能を理解する
11	集団の心理機能について理解する2	集団の斉一性や、同調行動、権威者の圧力など、集団に属したときに人に働く心理機能を理解する
12	【ワーク】 集団の中でどう対応するか？	事例提供して、これまで学んだことを活かして"適応的"に対応する方法をグループセッションする
13	【ワーク】 集団の中でどう対応するか？	事例提供して、これまで学んだことを活かして"適応的"に対応する方法をグループセッションする
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	対人関係論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	対人関係論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	史上最強よくわかる社会心理学		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・"人間"という動物の社会性について理解を深め、より良い対人関係を作るための実践的な知識を身につける ・三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」の"心"の部分の理解を深め、人との関わりの中で自分でメンタルコントロールする方法を身につける 				
到達目標	医療従事者として働くときの社会・集団に適應する基礎力・応用力を備える 対人関係の中でより良く機能するために、対人スキルを高めメンタルセルフコントロールができるようになる				
評価基準	小テスト：30% テスト：40% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原 彩	実務経験		○	
実務内容	心療内科精神科クリニック/心理職/5年 スクールカウンセラー/心理職/3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	"ストレス"について理解する1	ストレスとはどういうものなのかを理解する(ストレスor ストレスについて理論的に理解する)
3	"ストレス"について理解する2	ストレス対処で一般的に効果的とされている情報を提供(セルフストレスマネジメント)
4	【ワーク】"ストレス"対処	ハッピーリストの作成(不安が高まったリイライラしたときの対処を学ぶ)
5	メディアや文化が私たちに与える影響1	消費行動や段階的要請法について学ぶ(日常生活場面で知らず知らずさらされている効果を理解する)
6	メディアや文化が私たちに与える影響2	メディアが与える影響について(攻撃行動について)
7	メディアや文化が私たちに与える影響3	「日本」文化の特性を理解して、その中で適応しやすい方法を学ぶ
8	学びの振り返り	自分のことを理解して、自分を振り返り、気づいたこととどうありたいか?をまとめる
9	現代社会が与える心の負担を理解する	社会が進化するほどストレスが増す構造を客観的に理解する

10	"孤独"とネット	社会的補償仮説など、孤独感や疎外感をうまく対処する方法を学ぶ
11	幸福と心の健康について1	人間が"幸せ"を感じる10の要素を理解する（諸外国と日本の差についても理解を深める）
12	幸福と心の健康について2	被災とストレスの関係性について学ぶ
13	幸福と心の健康について3	安定した2者関係（パートナーとの関係性）が与える心理的効果について理解を深める
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	調剤薬局事務		
必修選択	必修	(学則表記)	調剤薬局事務		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	2	60
使用教材	調剤事務講座 テキスト一式		出版社	日本医療事務協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を習得する 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、調剤報酬算定以外にも対応できる知識を身につける				
到達目標	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割を述べることができる 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、ポイントを述べるができる 調剤薬局事務検定に合格することができる				
評価基準	評価テスト50% 小テスト20% 提出物/授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	調剤薬局事務検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	柴田 住予 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	保険調剤	第1章 薬局と薬の基礎知識 第2章 医療保険制度の概要
2	保険調剤 調剤報酬の算定	第3章 保険調剤の実務について 処方箋の見方、調剤報酬点数表の構成、
3	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	第4章 調剤報酬－薬剤料 算定の原則、薬価計算（五捨五超入）
4	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	レセプトの記載方法（上書き）、調剤基本料、薬学管理料の算定とレセプトの作成 調剤料（内服薬・屯服薬）、時間外加算、計量混合調剤加算 ※処方箋問題集No.1～4
5	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	一般名処方、調剤料（外用薬）、乳幼児 ※処方箋問題集No.5.6.7
6	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	麻薬処方（麻薬加算、麻薬処方箋の取り扱い）、予製剤、自家製剤加算、夜間・休日等加算 ※処方箋問題集No.8.9
7	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	乳幼児、休日加算、漢方（浸煎薬・湯薬） ※処方箋問題集No.10.11.12
8	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	内服用滴剤、かかりつけ薬剤師指導料 ※処方箋問題集No.13.14
9	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	漸減療法 ※処方箋問題集No.15.16.17

10	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	様々な症例について演習 ※処方箋問題集No.18.19
11	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	様々な症例について演習 ※処方箋問題集No.20.21.22
12	評価テスト	まとめテスト実施 学科試験対策
13	調剤薬局事務検定対策	調剤薬局事務検定に向けての検定対策 ※処方箋問題集No.23.24.25
14	医療保険制度	公費・総括
15	まとめ	前期のまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医科医療事務A I		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務A I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		60
使用教材	1診療報酬点数早見表2カルテ問題集3薬価・薬効表4早見表 5医療事務テキストⅠ・Ⅱ6検定過去問題集 7医療秘書技能検定問題集3級2		出版社	1医学通信社2～5ユアサポート 6全国医療事務教育協議会7つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する				
到達目標	点数表を読みこみ、医科・調剤のレセプトのポイントを述べることができる 医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる				
評価基準	評価テスト60% 提出物20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定1級・医療秘書技能検定3級（第3領域）				
関連科目	医科医療事務AⅡ、医科医療事務BⅠ・Ⅱ、社会保険概論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	北川久子 他3名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医療事務とは	オリエンテーション（目的、授業内容、検定について） 医療保険の種類、医療機関の種類、カルテの上書きについて
2	初診料、再診料	初診料、初診料加算 再診料 再診料加算 外来診療料 外来診療料加算について
3	医学管理	特、薬情、情、乳栄、喘息、外栄、皮膚、耳鼻、ウについて
4	医学管理、在宅医療	医学管理の続き 在宅医療 往診料について
5	投薬	薬剤の種類、薬剤料の計算方法（内服薬、頓服薬、外用薬）について
6	投薬	調剤料、処方料、調剤基本料、処方箋料について
7	注射	薬剤料、手技料 IM、IV、点滴、その他の注射、注射手技料の加算について
8	処置	通則（簡単な処置、対称器官、時間外加算） 点数表、テキストに沿って主な処置の説明について
9	手術	通則（対称器官、同一手術野、年齢加算、時間外加算） 点数表、テキストに沿って主な手術の説明について

10	麻酔、リハビリ	麻酔・神経ブロック：通則（前処置、年齢加算、時間外加算）点数表、テキストに沿って主な麻酔（閉麻を除く）について リハビリ：通則、疾患別リハビリテーション 精神科専門療法、放射線治療について
11	評価テスト	評価テストの実施
12	検査	検体検査料：判断料、緊検、外迅検、尿検査～微生物学的検査
13	検査、病理判断	生体検査料：判断料、年齢加算、対称器官、心機能学的検査～について 病理診断料：診断料、判断料、病理学的検査～について
14	画像診断	緊画、画像診断管理加算 エックス線診断料、コンピュータ断層診断料、判断料について
15	前期のまとめ	外来の範囲の総復習

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医科医療事務BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		30
使用教材	1診療報酬点数早見表2カルテ問題集3薬価表4早見表 5医療事務テキストⅠ・Ⅱ6検定過去問題集 7医療秘書技能検定問題集3級2		出版社	1医学通信社2～5ユアサポート 6全国医療事務教育協議会7つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	点数表を読み込み理解し、入院・外来レセプトを作成することができる 医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる				
評価基準	単元ごとの小テスト30% 評価テスト40% 提出物・授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定1級・医療秘書技能検定3級（第3領域）				
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務AⅡ、医科医療事務BⅡ、社会保険概論Ⅰ・社会保険概論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	北川久子 他3名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	レセプトの上書き	カルテ問題集 No1～10について実践
2	初診・再診料の算定	カルテ問題集 No1～6について実践
3	医学管理	カルテ問題集 No1～6について実践
4	医学管理 在宅医療	カルテ問題集 No7～10、4について実践
5	投薬	カルテ問題集 No1～10について実践
6	投薬	
7	注射	カルテ問題集 No5～8について実践
8	処置	カルテ問題集 No7～10、4について実践
9	手術	カルテ問題集 No10～12について実践

10	麻酔 リハビリ	カルテ問題集 No10～13について実践 No10までを仕上げる
11	検査	カルテ問題集 No11～15について実践 No11を仕上げる
12	検査	カルテ問題集 No12～15 No13までを仕上げる
13	画像診断	カルテ問題集 No14～25までを仕上げる
14	テスト	テストを実施する
15	前期のまとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医科医療事務AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		60
使用教材	1診療報酬点数早見表2カルテ問題集3薬価・薬効表4早見表 5医療事務テキストⅠ・Ⅱ6検定過去問題集 7医療秘書技能検定問題集3級2		出版社	1医学通信社2～5ユアサポート 6全国医療事務教育協議会7つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する				
到達目標	点数表を読みこみ、医科のレセプトのポイントを述べる事ができる 医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる				
評価基準	評価テスト60%、提出物20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定1級・医療秘書技能検定3級（第3領域）				
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務BⅠ・医科医療事務BⅡ・社会保険概論Ⅰ・社会保険概論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	北川久子 他3名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	復習：検定過去問題集から2級問題を実施
2	外来まとめ 在宅医療、医学管理	在宅医療：在宅自己注射指導管理料、訪問診療、訪問看護について 医学管理：薬、悪、てんかん、疼痛などについて 前期まとめ
3	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた対策
4	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた対策
5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた対策
6	入院と外来の違い	調剤料、IM・IV、点滴、処置、検査について
7	入院に関わるその他のもの	医学管理：薬管、手前、手後、肺予 輸血、麻酔（閉鎖循環式全身麻酔）について
8	入院基本料 入院基本料等加算	一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料 入院基本料等加算について
9	入院時食事療養費	入院基本料等加算つづき 入院時食事療養費について

10	医療事務検定1級対策	医療事務検定1級に向けた対策
11	医療事務検定1級対策	医療事務検定1級に向けた対策
12	評価テスト	まとめテスト
13	医療事務検定1級対策	医療事務検定1級に向けた対策
14	医療事務検定1級対策	医療事務検定1級に向けた対策
15	1年間の総まとめ	テストの振り返りと総まとめ 総括

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医科医療事務B II		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務B II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科		60
使用教材	1診療報酬点数早見表2カルテ問題集3薬価・薬効表4早見表 5医療事務テキストⅠ・Ⅱ6検定過去問題集 7医療秘書技能検定問題集3級2		出版社	1医学通信社2～5ユアサポート 6全国医療事務教育協議会7つちや書店	

科目の基礎情報2

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	点数表を読み込み理解し、入院・外来レセプトを作成することができる 医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる 調剤報酬のレセプトを作成することができる				
評価基準	単元ごとの小テスト：20% 評価テスト：50% 提出物・授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級（第3領域）				
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務AⅡ、医科医療事務BⅠ・社会保険概論Ⅰ・社会保険概論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	北川久子 他4名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	復習：外来レセプト1枚作成
2	医学管理 在宅医療	カルテ問題集 No13、20、23について実践
3	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた検定対策
4	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた検定対策
5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定3級に向けた検定対策
6	入院と外来の違い	カルテ問題集 No29、30について実践
7	入院にかかわる その他のもの	カルテ問題集 No31、32について実践
8	入院基本料	カルテ問題集 No29、30について実践
9	入院基本料等加算 入院時食事療養費	カルテ問題集 No31、32について実践

10	医療事務検定1級対策	カルテ問題集 医療事務検定1級に向けた対策
11	医療事務検定1級対策	カルテ問題集 医療事務検定1級に向けた対策
12	評価テスト	まとめテスト実施
13	医療事務検定1級対策	カルテ問題集 医療事務検定1級に向けた対策
14	医療事務検定1級対策	カルテ問題集 医療事務検定1級に向けた対策
15	1年間の総まとめ	テストの振り返りと総まとめ 医療事務検定2級対策

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	医科医療事務C		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科			
使用教材	レセプト ※問題はオンデマンド上に記載		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	算定の原則を理解し、外来・入院レセプトを作成することが出来る 医療事務検定2級、1級が合格できる				
評価基準	第1～14回提出物（レセプト）70% 第15回テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 				
関連資格	医療事務検定2級、1級				
関連科目	医科医療事務AⅠ 医科医療事務AⅡ 医科医療事務BⅠ 医科医療事務BⅡ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	模擬問題No.1	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
2	模擬問題No.2	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
3	模擬問題No.3	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
4	模擬問題No.4	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
5	模擬問題No.5	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成
6	模擬問題No.6	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_入院カルテ レセプト作成
7	模擬問題No.7	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成
8	模擬問題No.8	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_入院カルテ レセプト作成
9	模擬問題No.9	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成

10	模擬問題No.10	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_入院カルテ レセプト作成
11	模擬問題No.11	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成
12	模擬問題No.12	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_入院カルテ レセプト作成
13	模擬問題No.13	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成
14	模擬問題No.14	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_入院カルテ レセプト作成
15	総まとめ	外来、入院のまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	医療機関実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療機関実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	42
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	早期に医療機関の現場を知ること、学内の学習以外にも必要な知識・力があるということを理解する 自分たちが将来進むべき業界の理解と今後身に受けるべき知識を理解し、今後の学習につなげる				
到達目標	医療機関での業務の流れの概要をおおまかに知っている状態 2年生の実習・就職に向けて、現状の自分に足りないものを気が付けている状態				
評価基準	実習先（病院）評価60%（評価票 A（15点）、B（10点）、C（5点）、D（0点）） 学校側評価40%（振り返りレポート25%、実習手帳15%）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医事業務実践ベーシックⅠA/医事業務実践ベーシックB				
備考					
担当教員	相澤 祐平 他2名		実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アビリティUPⅠ(基礎学力)		
必修選択	選択	(学則表記)	アビリティUPⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	1入学前教育プログラム 学ぶ力の基礎コース総合テキスト 2基礎から学べる！文章カステップ文章検4級対応		出版社	1進研アド 2日本漢字能力検定協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人として必要な一般常識を身に付ける。 文章を「書く力・読み取る力」を養う。				
到達目標	使用教材にある演習問題を理解し、解答ができる。 作文、自己紹介文を書く準備が整う。				
評価基準	学期末テスト：70% 提出物：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務AⅠ・医科医療事務BⅠ・ビジネスマナーⅠ・プレゼンテーション実践Ⅰ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大木 彩 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	授業の目的、進め方/教材の使用方法について
2	計算1	仕事にまつわる計算(%,平均など)(教材1 p32~)
3	計算2	およその数(教材1 p36~)/四捨五入、「以上」「未満」など
4	計算3	割合(教材1 p38~)/電卓の機能
5	計算4	単位(教材1 p34~)/単位の換算
6	日本語1	読む力、助詞、正しい語句の選択(教材1 p2~)
7	日本語2	慣用句、敬語(教材1 p6~)
8	日本語3	正しい文の選択、簡単な文章の作成(教材1 p10~)
9	文章作成1	語句の正しい使用方法、文法(教材2 p10~)

10	文章作成2	資料から情報を読み取る（教材2 p18～）
11	文章作成3	指示語、接続語、段落の役割（教材2 p28～）
12	日本語4	熟語、四字熟語、カタカナ語（教材1 p14～）
13	日本語5	読む力2（教材1 p16～）／医療事務員として必要な漢字
14	確認テスト	前期分確認テスト（2～13回の内容）
15	総まとめ	テストの振り返り／総まとめ／社会人として必要な知識

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	アビリティUP II (基礎学力)		
必修選択	選択	(学則表記)	アビリティUP II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	1入学前教育プログラム 学ぶ力の基礎コース総合テキスト 2基礎から学べる！文章カステップ文章検4級対応		出版社	1進研アド 2日本漢字能力検定協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人として必要な一般常識を身に付ける。 文章を「書く力・読み取る力」を養う。				
到達目標	使用教材にある演習問題を理解し、解答ができる。 作文、自己紹介文を書く準備が整う。				
評価基準	確認テスト：70% 提出物：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務A II・医科医療事務B II・ビジネスマナー II・プレゼンテーション実践 II				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大木 彩 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	英語	曜日、月などの基本的な英語表記
2	社会	人の権利、個人情報保護、社会保障 (教材1 p 70～)
3	道徳	日本の文化 (教材1 p 64～)
4	計算5	データ、グラフの読み取り、平均 (教材1 p 40～)
5	計算6	計算の基本ルール、()のある計算 (教材1 p 46～)
6	日本語6	伝える力、敬語 (教材1 p 60～)
7	文章作成4	新聞記事を読み取り、伝える
8	文章作成5	表現の方法、語尾の使い分け、文章の推敲 (教材2 p 48～)
9	文章作成6	小論文と作文の違い、意見文について (教材2 p 54～)

10	文章作成7	意見文の作成1 (教材2 p58~)
11	文章作成8	意見文の作成2 (教材2 p64~)
12	文章作成9	決められたテーマに沿って小論文を書く
13	グループディスカッション	集団面接とは/就職活動におけるグループディスカッションの位置づけ、テーマ
14	確認テスト	前期・後期分の総合的な確認テスト
15	総まとめ	テストの振り返り/総まとめ/SPI